

## 地域活性化分科会 活動報告

アドバイザー           : 東北芸術工科大学 教授 松村茂  
報告                    : 株式会社野村総合研究所 一瀬寛英

2016年03月15日

---

地域活性化分科会リーダー  
株式会社野村総合研究所 一瀬 寛英

## <地域活性化分科会の活動方針>

テレワークによる地域振興について、

『人口流出の抑制』と『地場産業の促進』の2つの視点で議論しています

**都市圏の仕事を、地方・地域からテレワークで行い、人口流出を抑制**

**短時間労働など柔軟な働き方で、潜在的労働力を活用**

- コールセンター業務
- 地域企業のオフィス業務
- 地域企業のWeb制作業務 等

**地方・地域の地場産業の生産性向上や事業創出をテレワークで促進**

**事業の規模拡大や創出**

- 6次産業促進(連携)
- IT産業やコンテンツ産業の拡大
- 観光産業の振興やグローバル化対応
- 農業の効率化や規模拡大

## <地域活性化分科会の目的>

テレワークを活用した地域の活性化や振興について  
「人口流出の抑制」と「地場産業の促進」にフォーカスし、  
各自・各企業・各団体のビジネス活動のインプットとなるよう  
分科会(勉強会)にてメンバー間で情報共有および議論を行っています

# 今年度の地域活性化分科会の参加者 (24団体)

- 総務省
- 国土交通省
- 経済産業省
- 厚生労働省
- 株式会社NTTデータ経営研究所
- 特定非営利活動法人ナレッジネットワーク
- 特定非営利活動法人日本ITイノベーション協会
- 一般社団法人日本テレワーク協会
- ニューコン株式会社
- gbaプロジェクト
- ランサーズ株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・ソルコ
- 株式会社カルク
- 筑波技術大学 須田先生
- 東北芸術工科大学 松村茂先生(分科会アドバイザー)
- 株式会社野村総合研究所(分科会リーダー)

## ※ゲストスピーカー

- 株式会社テレワークマネジメント
- 宮崎県、日南市
- 一般社団法人日本テレワーク協会
- 鳥取県
- 株式会社こころみ

## ※ゲスト参加

- 株式会社サイボウズ
- Sansan株式会社
- 福岡市

# <今年度の活動内容>

## 現場・現地の声を、もっと多く聞くことにチャレンジ

### (地域のテレワーク実践企業・有識者、地方自治体の具体的取り組み)

	開催日時	人数	内容
第1回 分科会	2015年6月15日(月) 15:00~17:00	19	①メンバー自己紹介、②昨年度活動の振り返り、③今年度活動のアウトライン ④今年度の活動テーマについて ⑤ゲストスピーカー&ディスカッション テーマ:地方創生におけるテレワーク~地方における『サテライトオフィス』の役割 株式会社テレワークマネジメント 代表取締役 田澤由利様
第2回 分科会	2015年8月3日(月) 15:30~17:30	17	①ゲストスピーカー&ディスカッション テーマ:宮崎県および日南市の地域活性化の取り組みについて 宮崎県東京事務所 企業誘致担当 鷗野様 宮崎県東京事務所 行政担当 阪元様 日南市商工政策課 マーケティング専門官 田鹿様 ②ゲストスピーカー&ディスカッション テーマ:中小企業庁のクラウドソーシングプロデューサーの事例 昨年度に中小企業庁・全国中小企業団体協会で開催された「地域中小企業の人材確保・定着支援事業」(クラウドソーシング活用推進事業)における導入実証の紹介 日本テレワーク協会 中本 主席研究員
第3回 分科会	2015年11月16日(水) 13:00~15:00	19	①ゲストスピーカー&ディスカッション テーマ:移住者が多い自治体では、どのような取り組みが行われているの 鳥取県 元気づくり総本部 元気づくり推進局 とっとり暮らし支援課 課長補佐 前田康博様 ②ゲストスピーカー&ディスカッション テーマ:在宅ワークによる新しいビジネスの事例紹介 一人暮らしの親御さんに『在宅勤務の担当コミュニケーター』が毎週電話しその内容を家族にメールでレポートする会話型の見守りサービス「つながりプラス」を提供 株式会社こころみ 代表取締役 神山晃男様

# 今後のテレワークの類型(東京／地方、雇用型／自営型) テレワーカー同士が、テレワークによって場所や雇用形態を超えて仕事を創造する (今年度分科会の内容とのマッピング)

